

# はにい ちいさな「せんせい」

平成29年3月27日

助産師さんとその助産師さんの赤ちゃんを「せんせい」として招いての授業です。

「生まれて2ヶ月の赤ちゃんって会ったことある？」

「ない。ない」

「ある。弟と妹がいるから」

「では、実際に抱っこしたい人？」 「はい！はい！」

「じゃあ、順番に抱っこしてもらいます。怖いと思った人は無理しなくていいよ」

こわごわと抱っこする子、緊張して触るだけの子、戸惑う子を尻目に赤ちゃんせんせいは堂々と抱かれています。

「笑ってる～」 「あくびした～」 「手握った～」 赤ちゃんせんせいは何をしても大反響です。

「抱っこしてどうだった」

「喜んでいた～」 「かわいい～」 「もうちょい重いかと思った～」 「あったか～い」 「やわらかい～」 「俺生まれた時、こんなだったんだ～」 「みんなこうだったのかなあ」  
自然と自分たちの赤ちゃん時代の話が始まります。



「みんなもいきなり大きくなったのではなくて、こんなに小さい時から、一日一日を積み重ねてここまで大きくなったんだよ。自分なんかいる意味があるのかな、なんて思う人がいたら、『一人ひとりがかけがえのないいのちをもっていること』を忘れないうで。いのちは、家族や周りの人を温かくする。そこにあるだけで価値が十分にある。自分も大切に思えば、隣の人やクラスの人も大切にできるんだよ。」



最後にもう一度全員に抱っこされた赤ちゃんせんせい、授業をやりとげました。  
「あ、ピースした！」 「手振ったんだよ！」 話は最後まで尽きません。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。  
ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)